

<ハンドバッグの折り方>

15 センチ角の折り紙からまず鶴を折ってみましょう。

折り紙一枚取って下さい。

指先で触ったときにツルツルしている面が、色が付いている側です。

色が付いている側（表）です。

表を上にして四角い折り紙の対角線の角へ折り目を付けて折ってみます。

対角線から対角線を追って直角三角形を作ります。

このとき最初から強く折らずにまずは軽く折って左側に直角の角がくるように軽く折ります。

左手の親指と人差し指（指先）直角の角を触れ 2 枚の紙ができるだけきちんと重なるように揃えます。

親指と人差し指で 2 枚の紙のヘリをなぞるように触ると揃えやすいです。

2 枚の紙の角が揃ったところで、左手の親指と人差し指で、その直角の部分をきゅっとつまみます。

そうしたら、右手の親指と人差し指で出来上がった直角三角形を挟み込み（つまみ）押さえている左手の親指と人差し指の近くから二

等辺三角形の底辺中央に向けてつまんだ指をすべらせます。

底辺のところまできたら底辺をぎゅっとつまみます。

こうすることにより、きれいな三角形を作ることが出来ます。

つまんだ底辺から右手の親指と人差し指で上方と下方、三角形の上の角と下の角に向けて、きゅつきゅつきゅっと上の角まで何回か押さえて底辺にしっかりと折り目を付けます。

上下しっかりと折り目を付けてみて下さい。

折り目が付いたら左手の親指と人差し指を離し、今折り目を付けた残りの二つの角（45度の角）を触れてみて、ズレていないか確認をします。

ズれている場合は、きれいに重なるように角を中心に右手の親指と人差し指で角から順番に折ります。

折り目が付いたら三角形の底辺の部分を爪の先でつまんでスーっと2.3度滑らせて、しっかりと折り目を付けます。（サンプル1）

次に半分の大きさの直角三角形を軽く二つ折りにします。

二つ折りにした角と角を左手の指先でなぞって（触れて）角がぴったり合うようにします。ぴったり合ったらその角を左手の親指と人差し指できゅっと押さえます。

それから、直角の角に向かって右手の親指と人差し指で押さえて折り目を付けます。

直角の角からもう一方の角まで右手の親指と人差し指でキュッキュッとつまんでしっかりと折り目を付けます。

折り目を付ける時に、最初に揃えた角がズレてしまうことがあるので、時々最初に揃えた角がズレていないか確認しながら折り目を付けましょう。

これで、直角三角形が二枚に重なった三角形が出来ます（サンプル2）
次は、そのうちの一つの三角形を少し持ち上げて下さい。

持ち上げた三角形の中に親指を入れて三角形を広げます。

親指を一番奥まで入れて広げたところで広がった三角形の付け根から左手の親指で少し押さえます。

右手の親指を抜いて（親指の指先分くらい押さえます）押さえられた先にある角と下にある角を揃えます。

その時、左手の親指を少し滑らせて角の方に滑らせます。

右手の人差し指で角が揃っているか確認し、角が揃った右手の人差し指と親指でその角をギュッとつかみます。

つまんだら左手の親指と人差し指で左側の2本をギュッと押さえて

しっかりと折り目を付けて下さい。

触ってみると先程の直角三角形が正方形に変わったことがわかります。 (サンプル 3)

正方形が一つできたら紙をひっくり返します。

こちらには三角形がもう一つ残っています。

この三角形（今平らな状態なので、さっき作った四角形を底にして一つの直角三角形を持ち上げます。

その時に三角形と四角形の接している辺をきゅっきゅと内側へ折り目を付けます。

三角形の底辺の左右の角（四角形と接している辺）を指先で確認して、角がズレていないか触ってみます。

ズレているようでしたら、きちんと揃えて折り筋を付けて下さい。

次に、立ち上がっている三角形の袋の中に親指を入れます。

親指と人差し指で右側の角をつまみます。

四角形の 90 度の角と三角形の 45 度の角が二つあるので、この三つの角がきちんと揃うようにして右手の親指と人差し指でその角をギュッとつまみます。

つまんだら三角形の上の頂点を今つまんだ指先のところへ持ってきて

て重ねます。

そして、もう一度角を揃えて右手の親指と人差し指でギュッと押さえます。

90 度の角が一枚、45 角の二つ折りの角が間に二つ、上に 90 度の紙が一枚といったサンドイッチになります。

この角をギュッと押さえ左手の親指と人差し指で右手の押さえている親指と人差し指でつまみながら外側へ向かって上下につまんだまま指を滑らせて、左側の二つの辺をしっかりと折ります。(サンプル 4)

これで、全体が四角い形になりました。

(最初の折り紙の 4 分の 1 の大きさの四角です)

次は少し難しいですが、この 4 分の 1 の四角を触ると、紙が 2 枚の辺と紙が 4 枚の辺が二つあります。

紙が 2 枚の辺を左側にして、手を持って下さい。

そして、人差し指を上の隙間に入れます。

そして、上半分の三角形をさらに半分に折ります。

少しわかりにくいのですが、四角形の上の 90 度の角を四角形の真ん中に横一本ある線まで下ってきて真ん中の線 2 角を合わせ、そのまま四角形の右上の辺が四角形の中央の線と重なるように、折り目を

付けます。

コツとしては右手の親指と左手の人差し指を四角の上半分の中に入れて右手の親指と人差し指で押さえて少し上の三角形を持ち上げてみると中心の線に沿ってちょうどきれいに折れているとスムーズに動きます。

右側の角が 45 度の半分になった二等辺三角形が出来ます。（サンプル 5）

一つ二等辺三角形が出来たら、紙を裏返し今折った二等辺三角形と同じように反対側の四角の上側も半分に折ります。

2 枚折れたら上下ひっくり返して、下側の角を半分に折ります。

4 つの辺が全部折れたらきちんと折れているかまず指先で確認しましょう。

尖っている側の折りはしが少しづれてしまうことが多いので、22.5 度の端が折れすぎていたり、折りたらなかつたりしないよう、先まできれいに揃えて折り目を付けます。

また反対側の方も中心線に沿ってきれいに折れてないと辺が重なったり隙間が出来てしまうので中心線とぴったり合っているか確認します。（サンプル 6）

そこまでできたら、もったいないのですが、今折った 2 辺を少し広げます。

上の一枚だけを上手につまんで上手に広げてみて下さい。

他の紙も引っ付いてきてしまうので、一枚だけ上手につまむことが大事です。

一枚つまんで持ち上げたら、先程付けた折り目に沿って内側へ折り込みます。

半分は折り目どおりなのですが、残りの半分は折り目が逆になるのでちょっと大変ですが、折り目を付け直してください。

内側へ折り込んだら、しっかりと上下の尖った角がきれいにそろっているか指先で確認しながらしっかりと折り目を付けます。(サンプル 7)

それが出来たら、折り紙をひっくり返します。

ひっくり返したらまた上の一枚だけを上に持ち上げて下さい。

持ち上げたら、先程と同様最初に付けた折り目に沿って三角形を内側へ折り込みます。

上下の角をきちんと折れているか確認をしながら、しっかりと折り目を付けます。

そうすると、細長いひし形が出来ます。 (サンプル 8)

触ってみるとひし形の長い方の一方は 2 枚に分かれており、もう一方は上下にわかっています。

上下にわかっている辺をもってください。

少し動かしてみると上と下が離れていることがわかります。

ここから鶴の頭としっぽを作ります。

上下離れている方のひし形の一片を持って上の端をつまんで中心線に持ってきます。

少し紙が厚いので難しいです。

そのまま折り目を付けていきます。

キレイに折れると右足の細い先までズレることなく折ることが出来ます。

★一つ折れたら反対側にひっくり返しひし形の上の辺をもって中心へ折り、ひし形の先端に向けて半分に折ります。 (サンプル 9)

次に残りの二か所も半分に折ります。

これで鋭くとがった鶴の頭としっぽが出来ました。 (サンプル 10)

鶴の頭としっぽを持ち上げるため今折りあがった紙を確認してみます。

一方はひし形の羽になる部分が二枚、もう一方は今折った少し厚い

頭としっぽになる部分があります。

この頭としっぽになる部分を触ってみると谷になっていることがわかるでしょうか。

この谷になっているところを両手で広げ、2枚の羽根の方へ折り曲げます。

反対側も同じように谷になっているところを羽になっている方へ折り曲げます。

それではこの2枚の頭としっぽの2枚がすべて同じ向きになりました。

この後は羽の2枚の先をつまんで横に押し広げます。

頭としっぽのうちどちらか一方の先を中割り折りで先を1センチくらい横に折って頭を作ります。

はい鶴の完成です。

次は、鶴からハンドバッグを折ってみましょう。

鶴を折る工程のひし形の上下2枚に割れている方（つづき）

（サンプル10から）

★ここからハンドバッグの作り方が少し変わります。

今の紙の状態は、ひし形の2枚羽のある方はひし形のまま、反対側の上下がわかれている方は半分の細さに折り曲げられている状態です。（サンプル10）

羽の方を上にして細くした方を下に折って下さい。

羽を一枚持ち、下に引き下ろします。

ムリをしない程度まで出来るだけ下に引っ張り下ろしてください。

そこでは、羽の付け根ギューギューをおさえて折り目を付けます。

羽の先が半分に折った反対側のちょうど真ん中に来るよう折り目をつけて下さい。

出来たら反対側にひっくり返してもう一方の羽根を下に引っ張って羽の先を中央に揃えて羽の付け根をギューギューと折り目をつけます。（サンプル11）

羽の下をギュッと折ると鶴の背中の三角形が中から現れます。

この三角形の上半分をつまんで羽の付け根まで半分に折って下さい。

折り目を付けるために表裏をひっくり返して反対側にもう一度折り返します。 (サンプル 12)

上半分が折れている状態から土台の台形をさらにその半分に折ります。 (サンプル 13)

土台の部分の半分を一度ひっくり返してまっすぐにのばして、反対側にも同じように折り目をつけます。

横から見ると鶴の背中の部分がローマ字の Z のようにセット型になります。 (サンプル 14)

その次は、両方の羽根を右手と左手で持ち横へ引っ張って広げます。 パコッと音がして、鶴の背中の部分が正方形に広がります。 (サンプル 15)

先程付けた折り跡が外側の四角の内側に少し小さい四角形で残っています。

先ず羽のない側の四角形のふちを爪でつまみます。

ほんの 2.3 ミリ爪でつまむのがポイントです。

一片の端から端まで爪でつまんでください。

つまめたら反対側にして、やはり羽のない方の一片の端を爪で 2.3 ミリつまみます。

ほっておくと背中の四角が縮んでいってしまうので、時々羽を持つて伸ばすと爪が立てやすいです。

羽のない 2 辺をつまみ終わったら次は羽の付け根のある 2 辺をつまみます。

羽の付け根から 2.3 ミリ立ち上がったヘリが出来るはずです。 (サンプル 16)

念のためグルっと一周、四つの辺をちょっとずつ爪でつまみ直しましょう。

特に角は丁寧につまみます。深くつまんでしまうと、鶴の背中が内側に凹んでしまうことがあります。

内側に凹んでしまったら、鶴のお腹の方の足を広げて隙間を作って内側に小指の頭を突っ込んでつつくと元へ戻ります。

このようにして真ん中にハンドバッグの留め具の飾りを作ります。

四隅をつまみ終わった後、羽のない辺の中央を両方同時に指で押さえて全体をギュッと縮めると、ハンドバッグの留め具の出来上がりです。 (サンプル 17)

指先で触ると最初は三角形だったところが真ん中に小さい三角形がちょっきり出っ歯ているのでわかると思います。

次にハンドバッグの持ち手の準備をします。

今両手で持つと上と下に羽がそれぞれにあり、羽と羽の間に二つに分かれた頭としっぽがあります。

羽と羽が地面と直角になる様に両手で持ってみて下さい。

そうすると両方の親指と人差し指で羽をつまんで左右に広げます。

そして、2つに分かれている尖った三角形の先っぽを持って上方に折り返します。

先程作った留め具バックルの方へ折り上げます。

一つが出来たら、反対側も親指で羽と羽をもって横へ広げ真ん中にある長い脚を上に折り上げます。

羽をもと通り閉じてください。

いま2本の長い角が上に飛び出していて、2枚の羽根が下に向いている形が出来上がりました。

ちょっとしたコツですが、2本の角を両方とも真上ではなく少し横へ広げるような、形にしておきます。

万歳している両手をちょっと横に広げた感じです。（サンプル18）

ここまでできたらハンドバッグのボディを作ります。

羽の一枚をつまんでもう一枚の羽根の方へ胴体に沿って巻き込みま

す。

一枚の羽根の先がもう一枚の羽根の付け根にあたります。

あまりぎゅっと折り込まずにふわっと織り込むのがコツです。

折り込んだあと残ったもう一枚の羽根を、今巻き込んだ羽の外側にぐるっと巻きつけます。

そうすると巻き込んだ羽の先が、少しバッグの端から飛び出します。

(サンプル 19)

指先でバッグの側面に触れてみて下さい。

バックルの少し下に横に一本の切れ目が入っています。

巻きつけた羽の先をその切れ目の中に、折り込んで入れます。

折り込む長さが短いとすぐに外れてしましますので、短い場合はもう一度羽を巻き直してみて下さい。

1センチくらい巻き込むとしっかりと止めることができます。

すぐに外れてしまう時は、ボンドでくっつけちゃって下さい。 (サンプル 20)

いよいよ最後の工程です。

ハンドバッグの持ち手を作ります。

先程、上に上げた角をハンドバッグの上の辺りで親指を割れ目の間

に入れます。

人差し指で親指の反対側に添えて人差し指で少し押さえると自然に中割り折れが出来ます。

ちょうどハンドバッグの上に出ていた角が、横に出ている形になります。 (サンプル 21)

反対側の角も同じように中割り折れで横に伸ばします。 (サンプル 22)

ちょっと細かくになりますが、横に出ている角を触るとバッグの下に向かって人差し指と中指でピースサインを作っているような形です。そのピースサインになっている二つの中指と人差し指それぞれを外側に向かってさらに半分に折り縮めます。

この折り方は几帳面でなくとも大丈夫です。 (サンプル 23)

折り筋を付けるだけなので少しだけ折れればあとは上手に出来ます。 (サンプル 24)

横に折りだした角を上に戻します。

そうすると先程付けた折り線が残っているので、頭としっぽがコの字型になっています。 (サンプル 25)

ベルトの外側からコの字型をギュッと押さえ、平たいベルト状にし

ていきます。

また同時に、そのベルトを少しカーブを付けて丸くしていきます。

丸みが出来たらどこでもよいので先の方を 1 センチくらい外側に折り返します。

これは反対側を差し込みやすくするためです。 (サンプル 26)

ここまで出来たら完成まであと一歩。

先程コノ字型を潰して作ったベルト先を折り返した方のコの字の中に人差し指の先を入れ、コの字が閉まらないようにした状態で反対側の尖った先っぽをコの字の先っぽに差し込みます。

うまく差し込めたら指先を外して、きゅっと輪を作つて下さい。

反対側の先が締め付けられて自然にハンドバッグの持ち手が出来ます。

うまくいかない時は、ボンドの出番です。

ボンドでくっつてしまいましょう。

さあこれでハンドバッグの出来上がりです。 (サンプル 27)

皆に見せて自慢しましょう。